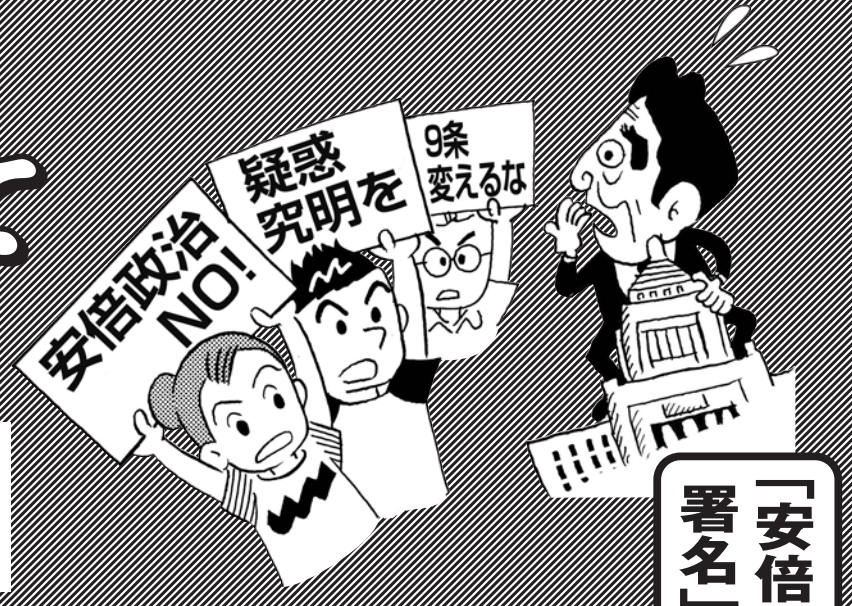


憲法を変えて 「戦争する自衛隊」にして よいのでしょうか？

「改憲、やるなら今」と、安倍首相はいま開かれている通常国会で、日本国憲法を変えるための国会発議をねらっています。国会で改憲勢力が多数を占めている今のうちに、憲法を変えてしまおうというのです。

「安倍改憲」で何がかわるのでしょうか？ 憲法を変えてよいのでしょうか？



「9条に自衛隊を書きこむだけ。何も変わらない」(安倍首相)
と言うけれど…実は「戦争する国」へまっしぐら

9条が壊される

安倍首相が言うように、憲法9条に新たに3項をつくり、「自衛隊」を明記するとどうなるのでしょうか。憲法は、9条1項で「二度と戦争しない」と決めて、9条2項で「戦力はもたない」と決めました。ところが9条3項で自衛隊を明記すれば、後からできた3項が優先され9条2項が死文化されてしまいます。

「殺し、殺される自衛隊」に

海外の武力行使を制限する9条2項の歯止めがなくなれば、自衛隊員は、「海外で米軍などと一緒に軍事行動をする」ことになってしまいます。災害救助で頑張る自衛隊員を戦場に送って、「命の危険」にさらしてよいのでしょうか。

「戦争する国」にまっしぐら

攻撃用の武器購入のために、過去最高5兆2千億円の軍事予算。この軍事予算がさらに増やされ、一方で福祉や教育予算はバツサリ削減。研究・教育も軍事優先。武器輸出がすすめられ、基本的人権の制限も…。そんな9条破壊＝「戦争する国への道」を許してよいのでしょうか。

武力で平和はつぐれない
北朝鮮問題の解決は対話でこそ

絶対に戦争を起こしてはダメ！

北朝鮮の軍事的挑発、本当に許されません。何よりも、東アジアで戦争を起こしてはなりません。そのために、どうすればよいのでしょうか。武力で解決できるのでしょうか。武力を行使すれば、報復攻撃が行われ、取り返しのつかない大惨事を招くでしょう。核戦争に発展する危険性すらあります。

9条を生かした対話と外交こそ解決の道

「対話は意味がない」と軍事的圧力強化一辺倒の安倍首相の対応は、世界から孤立し、事態を深刻化するものです。「国際紛争解決は、武力ではなく話し合いで」と求める憲法9条の実現こそ、日本の平和と安全を守る最も現実的な道ではないでしょうか。

北朝鮮にも米国にも核兵器禁止を迫ろう

昨年7月、国連で圧倒的多数で核兵器禁止条約が採択されました。核兵器の生産・保有・実験も、そして使用も威嚇も禁止されました。まさに憲法9条の具体化です。被爆国・日本に求められていることは、この条約に調印して、北朝鮮にも米国にも「核兵器を捨てよう」と強く迫ることではないでしょうか。

「安倍9条改憲NO! 3000万人署名」で戦争への道をストップ

憲法共同センター(戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター)

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03(5842)5611 FAX 03(5842)5620
<http://www.kyodo-center.jp/>